

18. 献血

少子高齢化の進行に伴う献血可能人口の減少や若年層の献血離れ等の影響もあり、献血者数は全国的に減少傾向にある。

また、輸血用血液製剤については国内の献血により供給されているが、アルブミン製剤など血漿分画製剤の原料においては、いまだに多くを外国からの輸入に依存している状況である。

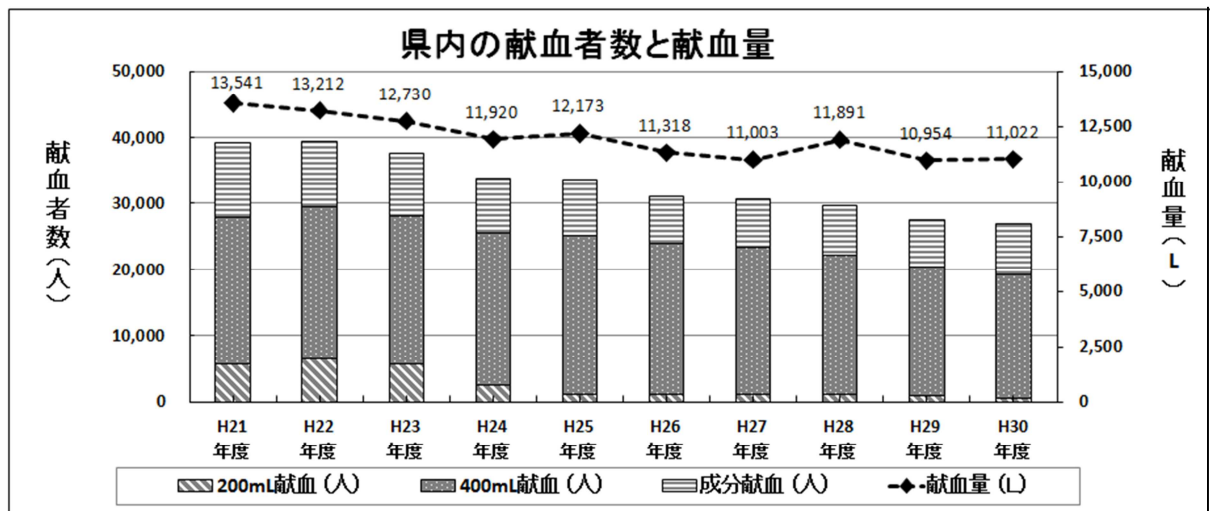
これらのことから、血液製剤の安全性の向上、献血による国内自給の原則、適正使用の推進、血液事業運営に係る公正の確保と透明性の向上を基本理念とした「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」が平成15年7月に施行された。

この法律に基づき、「県内の医療機関で必要な血液は県民からの善意の献血で賄う」を合い言葉に、高知県赤十字血液センター、市町村、民間ボランティア等と連携し、若年層をはじめとする県民各層への献血の普及・啓発活動を行うとともに、地域での献血組織の育成強化を図る。

(1) 献血者数

平成30年度の献血者数は26,932人であり前年度より2.0%減、献血量は11,022リットルであり0.6%増であった。

なお、過去10年間の献血者数及び献血量は下記のとおりである。



	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	対前年比	構成比	(参) H30年度目標
200mL献血(人)	5,575	6,357	5,592	2,428	1,082	1,026	1,069	1,146	991	458	46.2%	1.7%	568
400mL献血(人)	22,389	23,105	22,491	23,046	23,952	22,869	22,308	20,904	19,394	18,632	96.1%	69.2%	19,527
成分献血(人)	11,174	9,932	9,434	8,371	8,558	7,088	7,278	7,657	7,137	7,842	109.9%	29.1%	7,463
計(人)	39,138	39,394	37,517	33,845	33,592	30,983	30,655	29,707	27,522	26,932	97.9%		27,558
献血量(L)	13,541	13,212	12,730	11,920	12,173	11,318	11,003	11,891	10,954	11,022	100.6%		11,424

(2) 献血適格率等の状況

平成30年度の献血申込者のうち献血ができなかった人数は、3,242人で、申込者のうち10.7%を占めた。

特に、血液比重が不足する献血申込者は、男性1.7%に対して、女性16.5%となっているが、これは男女による赤血球数の違いの影響が大きい。

平成30年度中の献血申込者数と献血ができなかった人数

区分	受付者数	献血ができなかった人数						献血者数		
		比重不足		その他		計		構成比(%)		
		構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)					
男	200mL献血	42	0	0.0	1	2.4	1	2.4	41	97.6
	400mL献血	14,479	280	1.9	549	3.8	829	5.7	13,650	94.3
	血しょう成分献血	1,859	20	1.1	60	3.2	80	4.3	1,779	95.7
	血小板成分献血	3,931	49	1.2	135	3.4	184	4.7	3,747	95.3
	計	20,311	349	1.7	745	3.7	1,094	5.4	19,217	94.6
女	200mL献血	523	52	9.9	54	10.3	106	20.3	417	79.7
	400mL献血	6,762	1,432	21.2	348	5.1	1,780	26.3	4,982	73.7
	血しょう成分献血	1,442	85	5.9	56	3.9	141	9.8	1,301	90.2
	血小板成分献血	1,136	60	5.3	61	5.4	121	10.7	1,015	89.3
	計	9,863	1,629	16.5	519	5.3	2,148	21.8	7,715	78.2
合計	200mL献血	565	52	9.2	55	9.7	107	18.9	458	81.1
	400mL献血	21,241	1,712	8.1	897	4.2	2,609	12.3	18,632	87.7
	血しょう成分献血	3,301	105	3.2	116	3.5	221	6.7	3,080	93.3
	血小板成分献血	5,067	109	2.2	196	3.9	305	6.0	4,762	94.0
	計	30,174	1,978	6.6	1,264	4.2	3,242	10.7	26,932	89.3

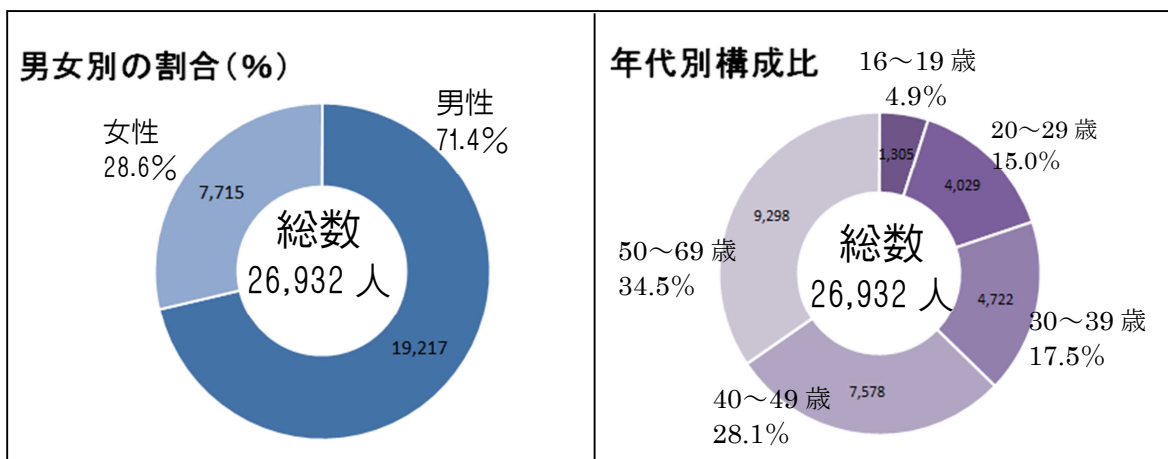
(3)性別・年代別からみた献血者の状況

献血者の性別の構成割合は、男性 71.4%、女性 28.6%となっている。

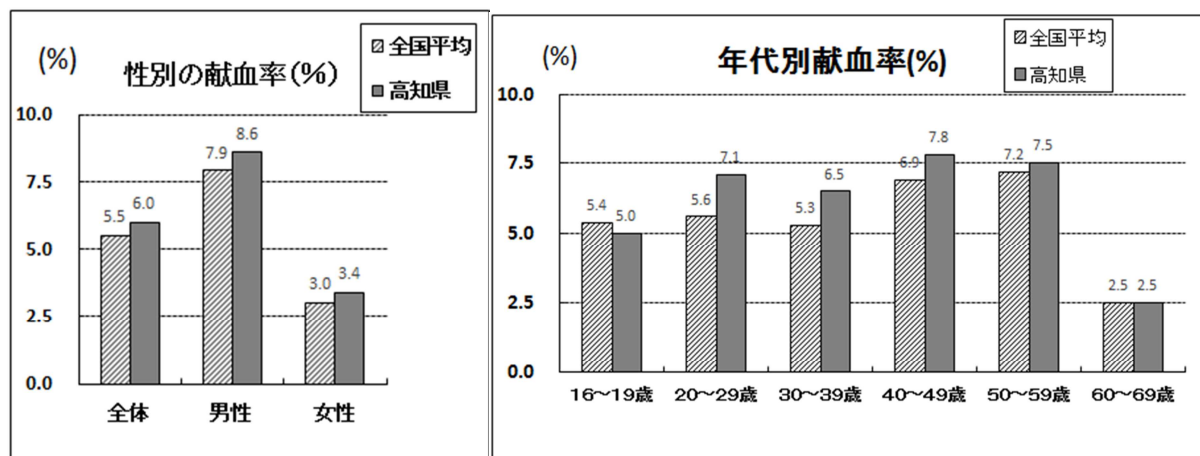
献血率を性別で見ると男性は全国平均を 0.5%上回っており、女性は 0.7%上回っている。年代別では 20 歳代から 50 歳代で全国平均より高くなっている。

平成 30 年度 性別・年代別献血者数

	16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～69歳		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	小計
200mL献血	28	202	2	56	1	44	4	47	6	68	41	417	458
400mL献血	717	281	2,242	775	2,361	786	3,789	1,295	4,541	1,845	13,650	4,982	18,632
血しょう成分献血	13	27	196	309	343	265	538	344	689	356	1,779	1,301	3,080
血小板成分献血	20	17	235	214	669	253	1,204	357	1,619	174	3,747	1,015	4,762
合計	778	527	2,675	1,354	3,374	1,348	5,535	2,043	6,855	2,443	19,217	7,715	26,932



平成30年中の性別・年代別献血率



(注1) 1月から12月の献血者による献血率(献血者数は、日本赤十字社血液事業「平成30年血液事業統計資料～血液事業の現状～(平成30年1月～12月累計)」掲載データを利用)

(4) 血液製剤供給量の推移

県内における血液製剤の供給状況

上段：200mL 換算本数 (下段：実本数)

年度	全血製剤	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	合計
H21	0 (0)	46,709 (25,927)	18,648 (5,480)	55,075 (5,505)	120,432 (36,912)
H22	0 (0)	47,269 (26,480)	18,820 (5,229)	48,455 (4,846)	114,544 (36,555)
H23	0 (0)	46,586 (25,897)	19,428 (5,282)	52,170 (5,216)	118,184 (36,395)
H24	4 (2)	46,454 (24,428)	19,554 (5,348)	54,595 (5,501)	120,607 (35,279)
H25	0 (0)	45,093 (23,199)	22,649 (6,250)	54,085 (5,410)	121,827 (34,859)
H26	0 (0)	46,079 (23,578)	20,805 (5,743)	57,185 (5,718)	124,069 (35,039)
H27	0 (0)	42,984 (21,944)	18,320 (4,976)	58,560 (5,856)	119,864 (32,776)
H28	2 (2)	43,406 (21,997)	20,254 (5,303)	53,561 (5,358)	117,221 (32,658)
H29	0 (0)	42,123 (21,387)	15,269 (5,330)	57,460 (5,746)	114,852 (32,463)
H30※	0 (0)	39,894 (20,214)	13,940 (4,893)	56,026 (5,634)	109,860 (30,741)

(注) 換算本数は、400mL 由来製剤=×2、 2単位=×2、 5単位=×5、 10単位=×10、
15単位=×15、 20単位=×20により算定

※H30年度データ:全国血液センター供給本数速報(Ⅱ)平成30年4月～平成31年3月分累計より

